

市民病院

もつと耳寄り情報



市民病院
☎ 66♦2200

子どもの食物アレルギー事情

「うちの子はたまごアレルギーがあつて食べられないの。」と耳にすることがあります。

ひと昔前は、疑わしい食材はすべて除去するよう言われていました。しかし、食物アレルギーの診療はここ10年ほどで大きく変化してきています。食物除去は必要最小限にとどめ、むしろ「症状がなく食べられる範囲までは積極的に食べる」ことを勧められています。

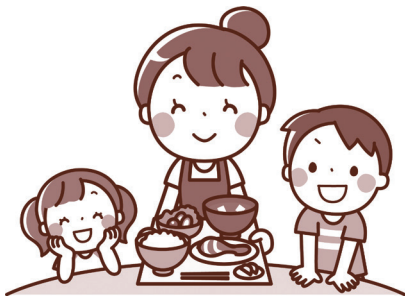
アレルギーの原因診断は血液検査だけでは限界があることも分かってきています。血液検査や皮膚テストを参考に行いますが、さらに診断を確実にするために、経口食物負荷試験という方法があります。血液検査で陽性であっても、実際には食べられることもあるからです。どの程度まで食べられるのか、また食物除去をしているが、食べられるようになったかどうかを調べる場合にも有効です。

栄養士や医師と相談し、定量摂取してい

くことで少しずつ摂取出来る量を増やしたり、卒業できたらお子さんの生活は豊かで楽しいものとなるでしょう。

市民病院では、食物アレルギーのあるお子さんが安全に楽しく食生活を送るために、アレルギー専門医・食物アレルギー指導経験豊富な栄養士・看護師が指導・相談に対応しています。外来での診療や相談の他に、食物負荷試験入院やアトピー指導入院なども行っていますので、気軽に相談してください。

また、食物アレルギーをもつお子さんを対象としたアレック子クッキングスクールを年2回開催しています。アレルギーを気にせず、ご家族・お友達と一緒に作って食べる時間を過ごしてみませんか？ご希望の方は小児科外来までご相談ください。



おれんじサロン

認知症リンクナース会では、認知症の方や家族の方と楽しいひとときを過ごすオレンジサロンを開催します。

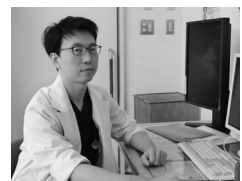
とき 5月17日(金)
午前10時～正午

ところ 市民病院1階ホスピタルモール
内容 認知症の早期発見と受診のタイミング、介護の悩み相談、認知症予防コグニサイズ、ぬりえ、ハンドマッサージ



先生に聞いてみた!

インタビューバトン



第24回 小児科 医師 小川 晃太郎

Q 先生が小児科医を志した理由は？

A 将来のある子どもたちを守りたいと思ったからです。

Q 春は環境の変化や寒暖差で子どもが体調を崩しやすいですが、どのような病気に注意が必要ですか？

A 保育園や幼稚園に入園することで、人から人にうつる病気にかかりやすくなります。具体的には、溶連菌感染症は比較的春に多いと言われています。

Q 溶連菌感染症はどんな症状が出ますか？

A 高熱、のどの痛みに加え、体に赤い発疹が出ることもあります。

Q 感染症を防ぐために、保護者はどんなことに注意したら良いですか？

A 手洗いなどの感染対策をしっかり行いましょう。

Q 蒲郡市の印象は？

A 海が近くにあつて、穏やかで暮らしやすいところだと思いました。

Q 先生の健康管理法は？

A 自転車に乗ることです。

Q 患者さんや地域の方々にと

A 地域の子どもの健康を守るために頑張ります。気になることがありましたら、どうぞご相談ください。